

# Shiranuka

林業株式会社

No.137

東京二ハナイモノ  
ガココニアル

だって、  
しらぬかだもノ

[傍聴席から]  
片岡福太郎さん  
「白糠で空の広さに気がついた」

[しらぬかいい店こんな店]  
やまかん

多  
だ  
り  
しらぬか  
2017.7.25

「東京三ハナイモノ」

まちづくりや議会に對する町民意見を掲載する「傍聴席から」。

今回で登場いただくのは、今年の4月に商工会青年部長に就任された片岡福太郎さんです。

— 部長就任おめでとうございます。まずは青年部に入って部長になった経過を教えてください。

【片岡さん】高校を出てから大学、就職で神奈川や東京の方に住んでいたんですが、父が体調を崩したこともあって平成24年の10月に白糠に戻ってきました。

その後すぐに商工会青年部に入りまして、33歳という年齢もあって平成27年の4月に副部長になったんですが、その時から「2年後は部長になる」という事を見据えた上で副部長になってくれ」という話

があったので、覚悟はできていましたし、その流れで今年の春に部長に就任しました。

— 部長として何か新しい事に取り組み予定は？

【片岡さん】新しい事を始めるというよりも、まずは今まで

補助金がなければ全体予算は減るけれど引き換えに自由がある

の青年部としての活動を見つめ直してみたいんですが、今の体制で出来ない事はやめていこうと思っています。

人数も減ってきて部長一人にかかる負担が大きくなってきて、ある子供のいる部員からは笑いがあつてすけれど「夏場は子供と過す時間が無い」という事を言われたことがあつて、子供が小さい頃に

一緒にいられる時間なんて限られてるのに、そこを奪ってしまうのはどうなのかと。

— 継続してきたものをやめるのは大変ですよ？

【片岡さん】そうですね。他町村のイベントにも参加して

いたんですが、それも見直ししました。向こうも白糠のイベントに参加してくれていたの

で、難しいところはあつたんですけれど。

— 町内の青年団体と交流して思う事は？

【片岡さん】それぞれみんな町に對しての想いを持っていてるんだと思います。ただ、な

かなかそれを口に出して、さらに行動に移すことは難しい。今はみんながどう考えているのかもっと知りたいと思っ

— 話をする機会が少ない？

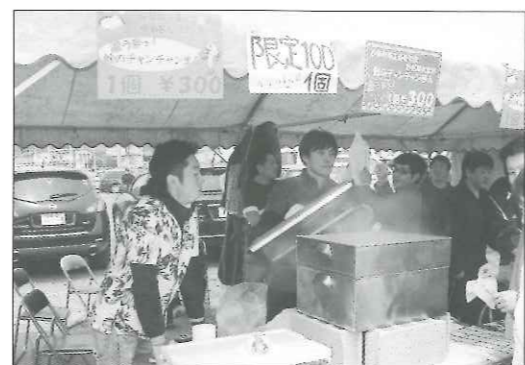
【片岡さん】青年交流会とあって、農協、漁協、商工会、

役場の各青年団体が年一回スポーツ大会のような事はやっています。その中で「交流会以外の活動もしたいね」という意見があつて、それで昨年

牧草ロールの看板を4団体で作ったんですけれど、そういうところで交流はあります。その延長で、「規模は大き

くなくてもこの4団体で何かイベントのような事ができたら面白いね」という意見も出ています。

それがもし実現するとしたら、できれば町から補助金は受けずにやりたいですね。他



イベントに参加する片岡さんと商工会青年部員

◆一筆御礼◆

スマートな佇まいと常に冷静で物事を俯瞰的にとらえて口を開く姿から「汗や努力が似合わない人」、冗談半分に「笑って人が斬れる人」等と言われる片岡さん。しかし、実は100キロマラソンを完走するド根性と友人の結婚式で誰よりも号泣する深い愛情を持ち合わせた好青年▼「補助金は受けずに」という崇高な志は自由と引き換えに様々な困難を背負うものですが、その頑張る姿が町民や行政を動かす、やがて町を変えていくものと思っ

ています。いつの時代も新しい扉を開くのは若者たち。若者たちの「悪だくみ」に期待しています。

白糠に帰ってきて空の広さに気づかされた

空って広いんだと気づかされたんです。東京で10年以上暮らしていたから思ったことなんでしょう。

高校を卒業して白糠を出た

のは、この町には「何も無い」と思ったからなんです。遊ぶ所も少ないし、自分が興味をもてる所も無いし。

でも無いものを求めて都会に出たんですけど、帰ってきてこの町には「ない」だけで



かたおかふくたろう 片岡福太郎さん 35歳 商工会青年部長 増井林業(株) 専務取締役 将来の夢：この会社を100年企業にする。80歳まで現役なら達成予定です(笑)

【片岡さん】正直に言うと負担は大きいんですけどね。補助金がなければ全体予算も少なくてやれる事も限られるんですけれど、でもそれと引き換えに自由があるからやっています。楽しんでます。

ビール祭りに関して10回やってマンネリ化してきたのもあるし、人員不足で今後20回までいけるかと考えたら疑問だったんで、昨年の10回が一つの区切りになったという理由がありました。

— 先ほど話のあった4団体によるイベントというのを具体的に教えてください。

【片岡さん】具体化しているものは今の段階ではないんですけど、それはたとえばイベントじゃなくてもいいとも思っています。なにか悪だくみのようなことでも(笑)。

ただ一つあるのは、4団体で交流したときに「町コン※のような事も面白いね」という話が出ました。一番みんなの仕事が落ち着くのが10月、11月くらいなので、そこでハロウィンパーティー的な町コ

※町コン～ 出会いや地域振興を目的とした町ぐるみのコンパ(飲み会)

ンをやっても面白いねと。その話がでた時はみんなでお酒を飲みながら思ったことを話すという感じだったんですけど、そういう感じがスタートしていくのが一番良いと思っ

— 議会についても話を伺いたいのですが、何か意見等ありませんか。

【片岡さん】議員報酬に関しては少し低いと思います。それだけで生活できるレベルのものがあれば職業の一つとして考えられると思います。

定数はそれが適正なのかどうかわからないですけど、浦幌の議会が定員割れしたという話をニュースで聞いたので、どうなのかなとは思っています。

— 最後に、白糠の良いと感じるところと悪いと感じるところを教えてください。

【片岡さん】白糠に戻ってからはマラソンを始めたんですけど、その理由があまりにも暇だったからなんです(笑)。

片岡福太郎

# 第二回 定例会

平成29年第2回定例会は6月5日に開会し、2日間の日程で行いました。初日は町長、教育長からの行政報告の他、8人の一般質問を行いました。2日目に補正予算、農業委員の任命、意見書の提出等について審議し、閉会しました。

## 補正予算

### ◆29年度一般会計

台湾新北市烏来区との友好交流提携に係る親善訪問経費の他、青少年旅行村「驚きの森」の整備に要する費用等の補正で1145万6千円を追加し、予算総額を98億1145万6千円としました。

### ◆29年度国保特別会計

平成30年度からの国民健康

### 質疑・答弁

保険制度都道府県単位化に対応するシステム構築等の費用として2366万3千円を追加し、予算総額を12億8047万6千円としました。

鎌田議員 都道府県単位化になることで国保税等は今後どうなるのか。

岡嶋議員 サービス課長 11月頃に国保税が固まる見込みだが、道内では自治体によって国保税の格差が大きく、調整に難航していると聞いてい

## 工事請負契約の締結

現在の算定では本町の国保税は道内で中間くらいに位置しているが、激変緩和措置等によって多少上下することも想定される。

本年5月24日に入札執行した(仮称)庶路小中学校の工事請負契約の締結。

### 質疑・答弁

#### ◆外構

福地議員 落札率は。岡企画財政課長 94・84%。

岡嶋議員 この工事は最初の全体工事の入札の中に含まれていなかったのか。

岡企画総務部長 含まれていない。それぞれの行程の中で工区割りをして入札・発注をしている。

#### ◆太陽光発電設備

福地議員 落札率は。また工期設定の仕方・意図は。

岡企画財政課長 落札率は95%。園建設課長 工期設定については、ケーブル関係等建物本体の工事と共通する部分があ



設置予定の太陽光パネル(参考写真)

るため本体の工期に合わせている。

中河議員 この太陽光設備の能力は。

園建設課長 太陽光発電容量が49キロワットで、蓄電容量が25キロワット。蓄電した25キロワットは、建設中の学校の多目的ホールの照明を10時間使用することができる程度の容量。

岡嶋議員 何社による入札で入札率は。またこの消防車に梯子は付いているのか。

園地域防災課長 3社による入札で、入札率は99・26%。梯子はついていない。

## 区域の設定

平成27年度から進めていた庶路地区等の字名改正。主な改正内容は以下のとおりです。

- ・「庶路基線」等だった庶路市街地を、「庶路1丁目」「庶路宮下1丁目」「恋問1丁目」等に改正。
- ・「庶路甲区」等だった鉦白工業団地を、「工業団地1丁目」「等に改正(一部は改正なし)。
- ・「茶路基線」等だった日の出団地以北の住宅地やななかまど団地を、「東1条北9丁目」「西1条北9丁目」等に改正。
- ・「和天別〇番地」だった橋北公営住宅西側を、「西6条北1丁目」等に改正。
- ・「チプタナイ〇番地」だった(仮称)庶路小中学校建設地を、「西庶路学園通1丁目」に改正。

## 財産の取得

本年5月17日に入札執行した消防ポンプ自動車の購入。

### 質疑・答弁

## 農業委員の任命

本年7月19日に任期満了を迎える農業委員について、新たに3年間の任期で次の9名を任命しました。

- ・中河敏史(農業委員等)
  - ・石田正義(農業委員等)
  - ・對木範誉(農業委員等)
  - ・林 善幸(農業委員等)
  - ・澁谷幸子(農業委員等)
  - ・峯田弘子(農業委員等)
  - ・照井 明(農業委員等)
  - ・酒井伸吾(スポーツ推進委員等)
  - ・松本隆志(町内会長)
- ※( )内は主な公職歴等。

## 意見書の提出

意見書案が提案され、原案のとおり可決し各関係省庁に提出しました。意見書文は紙面の都合上省略させていただきます。

意見書案第1号  
「全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律」の早期制定を求める意見書  
提出先 衆参両議院議長他

## 行政報告

### ◆国保税等の誤り

厚生労働省の算定システムの不備を原因として全国で保険料の過大・過少徴収が発生している問題について、本町においても同様の誤りが発生している旨の報告がありました。(別表のとおり)

別表	還付件数	還付額	追徴件数	追徴額
後期高齢者医療保険	12件	195,500円	2件	51,800円
国民健康保険	10件	486,700円	7件	248,400円
合計	22件	682,200円	9件	300,200円

### ◆ALITの着任

新しい中国語担当の外国語指導助手として孔祥恵(コンシャンフオイ)さんが着任しました。

孔さんは中国の吉林省出身で、学生時代から日中交流に取り組み、非常に日本語が堪能です。

今後は町内の幼稚園から高校まで、全ての児童・生徒に対して中国語指導を行って行きます。



阿部祥恵さん

### ◆ALITの離任

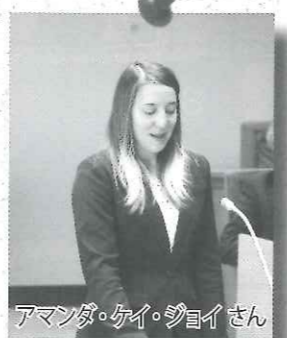
英語指導にあたってきたアマンダ・ケイ・ジョイさんが2年間の任期を終えて離任することとなりました。

英語教育の他、母国アメリカの風俗、習慣、文化等の指導にあたっていただきました。帰国後は日本語通訳として働きながら、翻訳家になるのを目標に日本語の勉強を続けられます。

## 議員の派遣

北海道町村議会議長会主催による議員研修会の他、台湾新北市烏来区との友好交流親善訪問及び議会広報研修会への派遣を承認しました。

- ◆町村議会議員研修会  
日時 平成29年7月4～5日  
場所 札幌市  
対象 全議員
- ◆台湾烏来区親善訪問  
日時 平成29年7月13～16日  
場所 台湾新北市烏来区  
対象 全議員
- ◆議会広報研修  
日時 平成29年8月21～22日  
場所 札幌市  
対象 広報委員2名



アマンダ・ケイ・ジョイさん



富田議員



岡嶋議員

以上10年以上の功績を認め、功労のあった者として、富田議員と岡嶋議員が表彰を受けました。



中村 仁志 議員  
Nakamura Hitoshi

## 空き家の実態調査の結果は

町 三分の一は大規模修繕等が必要

町内における空き家実態調査の結果は、  
空き家と推定された軒数は716軒で、このうち公道から侵入できなかった51軒を除く665軒の空き家について外観などから不良度判定を行った。AランクからDランクの4段階に区分し、管理に特段の問題がないAランクが全体の14・9%、小規模な修繕が必要なBランクが39・4%、中・大規模な修繕が必要なCランクが16・2%、大規模な修繕や除却となるDランクが29・5%。これらの結果から、町内の空き家の半数は利用可能な状態であるが、三分の一は大規模な修繕や除却が必要となっている。

町「特定空き家※」の戸数は、  
不良度が一番高いDランクの空き家が196軒。

※「特定空き家」  
法律に基づき指定する、危険な状態で周囲に迷惑が掛っている状態が改善されない空き家

町 危険空き家などの除却解体工事にかかる費用の一部を助成する考えはないか。  
町 今後、所有者への意向調査などの対応を進めていく過程の中で検討したい。

町 「特定空き家」の持ち主へは助言・指導・勧告等をしなければならぬが、町の基準はどうよくなっているか。  
町 法律上の措置は強い公権力の行使を伴う行為が含まれていることから、慎重に所有者の事情の把握等に努め、危険な状態にある空き家については適切に対応していく。

町 空き家バンクの活用はいつ頃か。  
町 空き家実態調査の結果をもとに、将来的な管理について家主の意向調査を実施し、その調査に合わせて商工会と連携して7月に開設を予定している空き家バンクの詳細な制度周知を図る。また、本人同意のもと、意向調査、空き家調査の情報を制度登録に活用する取り組み等についても進めていきたい。



# 一般質問

**5 中河 敏史 議員**  
白糠町最終処分場並びにクリーンセンター建設に係る補償費等全般について

**6 折出 征清 議員**  
常備消防に係る職員体制について 他2件

**7 福地 裕行 議員**  
北朝鮮情勢について 他4件

**8 小池 憲一 議員**  
高齢者対策について 他1件

**1 中村 仁志 議員**  
空き家等の実態調査の結果について 他2件

**2 小野 キサ 議員**  
がん検診について

**3 鎌田 民子 議員**  
アスベスト対策は万全か 他1件

**4 石田 正義 議員**  
町内随一の観光施設恋問館について 他3件

一般質問は8名の議員が登壇し、空き家等の実態調査結果、がん検診の取り組み、アスベスト対策等21件34項目について質問を行いました。



町 公用車にドライブレコーダーを設置しては  
町 施策の優先度を勘案しながら取り進める

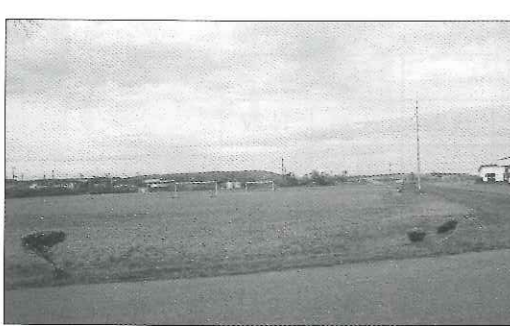
町 庶路中学校移転後のグラウンドの活用は  
町 有効に活用すべきと考えている

町 職員の安全意識の向上による事故防止を目的として公用車にドライブレコーダーを設置する考えはないか。  
町 時代の趨勢で公用車にドライブレコーダーを搭載することの必要性については十分に理解しているが、町の施策が多岐にわたっていることから、他の施策との優先度を勘案しながら取り進めたい。

町 移転後の庶路中学校グラウンドの活用について伺う。  
町 水はけや立地条件の良さは同様の認識であり、校舎移転後も有効に活用すべきと考えている。関係機関やスポーツ団体等から意見を伺いながら方向性が確かならば議会と相談したい。



設置する人が増えているドライブレコーダー



活用方法を模索する庶路中グラウンド



小野 キサ 議員  
Ono kisa

### 「がん検診」はなぜ大切か

#### 町 早期発見で命を守る

胃がん・肺がん・大腸がん  
1645名、乳がん975名、子宮がん1259名。  
受診率と受診者数の内訳は表1のとおり（受診率は町が委託している鉋路がん検診センター等の数値であり、個人での受診者数は把握が困難な為含んでいない）。

胃がん2名、平成27年度が子宮がん1名。

過去2年間のがん検診の受診率と受診者数及び罹患者数を伺う。

過去2年間の年代別受診率を伺う。

表1 がん検診状況

検診名	年度	受診率 (%)	受診者数 (人)
胃がん	H 26	13.3	218
	H 27	12.8	211
肺がん	H 26	16.2	266
	H 27	16.5	271
大腸がん	H 26	18.6	306
	H 27	21.0	346
乳がん	H 26	14.9	145
	H 27	12.8	125
子宮がん	H 26	8.8	112
	H 27	8.3	105

表2 年齢別受診率 (%)

検診別	胃がん		肺がん		大腸がん		乳がん		子宮がん	
	H 26	H 27	H 26	H 27	H 26	H 27	H 26	H 27	H 26	H 27
20代									13.4	3.9
30代									12.1	8.9
40代	9.5	9.8	10.5	11.2	16.5	18.9	25.9	27.0	9.8	13.8
50代	14.6	12.7	16.2	15.3	18.8	21.1	21.3	11.8	9.1	8.3
60代	13.8	13.8	17.9	18.6	19.2	21.6	8.4	8.8	6.6	7.5

罹患者の3名は何回目の検診で見つかったのか。町初回で発見した。

受診率向上対策と予防対策を伺う。

受診率向上対策は検診会場や回数を増やすとともに、日曜日5回、土曜日に1回実施するなど受診しやすい体制づくりを努める。またアンケート調査を実施し、検診対応について検討していく。

予防対策は昨年度より40歳以上の希望者を対象にピロリ菌検査の体制を整え、成人の

胃がん予防体制強化に取り組んでいる。また若年層については本年度から中学生を対象にピロリ菌検査を実施し、陽性結果の希望生徒には公費で除菌治療を行っている。なお、本年4月に着任した地域活性化支援員による健康づくりと予防対策についての取り組みも検討している。

支援員の取り組み内容は、豊富な知識を活用した出前講座等、多くの町民との講話等を考えている。

特定検診の無料化の考え方を伺う。

今後アンケート調査の結果を精査して方策を検討する。



鎌田 民子 議員  
Kamada tamiko

### 公共施設のアスベスト対策は万全か

#### 町 分析調査、発散防止対策を進める

学校施設以外の公共施設（集会所等、水道も含む）におけるアスベスト含有調査状況と解体及び修繕状況、今後の対策について伺う。

平成17年度に9施設、平成20年度には6施設について、アスベスト含有吹付建材の調査を実施した。その結果、4施設からアスベスト含有被覆材の使用が判明し、うち3施設について被覆材の除去を行い、1施設は除去した。

平成26年6月1日に「石綿障害予防規則」の一部が改正され、設備配管等の保温材や煙突用断熱材等も新たにアスベスト規則の対象となった。改正に基づき、設備配管等を覆っている保温材について目視点検を実施した。特に劣化・損傷がなく、現時点では粉じんが飛散する状況ではなかった。

今後の対策として定期的な点検を実施し、発見した場合は速やかに含有分析調査、発散防止対策を取り進める。各施設において大規模改修や解体等の工事を実施する際には、使用されている建材



飛散が著しい吹付アスベスト (参考写真)

等に応じた分析調査を行い、粉じんの飛散を防止する措置を講じて適切に対応する。

飛散が著しく高い吹付アスベスト建材の点検ルールを定めた地域防災計画に災害時の対策はとっているか。

町本町の地域防災計画には災害発生時のアスベスト建材の飛散対策までは明記していない。平成27年7月に国の「防災計画」において、大気汚染防止法に基づき、有害物質の漏えい及び石綿の飛散を防止するための修正が行われており、環境省が進めている「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」が今年度中に改訂されるので、内容が決定したら北海道等の関

係機関と連携し、本町の防災計画を修正していく。

#### 入学準備金は入学前に支給すべき

#### 町 入学前支給に向けて取り組み

文科省は援助を必要としている時に速やかな支援が行えるよう交付要綱を一部改正し、これまで「児童又は生徒」としてきた入学準備金の交付対象に「就学予定者」を追加する通知を都道府県教育委員会に出した。これまでは7月支給、5月支給としていたが、この通知により入学前に支給できる事になった。来年度から実施する考えはないか。

町本町では毎年度保護者からの申請に基づき、前年の世帯収入により就学援助の認定、非認定を決定しているため、世帯収入確定時期の問題があり、援助費の速やかな支給を行っても入学前支給には至らなかった。しかし、国の動向や町の子育て支援策を勘案し、新入学児童生徒学用品

費等については、平成30年度の入学前支給に向け、前年度の世帯収入を活用するなど新たな制度設計に取り組む。

入学前支給を実施している道内自治体の把握状況について伺う。

鉋路管内の自治体で入学前支給を実施している町村はなく、本町と同様に平成30年度の入学前から実施予定のところ、検討しているところ、他市町村の動向を見ながら対応するところに分かれている。管外の自治体の状況については、いくつか実施市町村はあるが、全体的な把握はしていない。





石田 正義 議員  
Ishida Masayoshi

### 恋問館の改修を急げ

#### 町 振興公社と協議の上で検討を進める

昨年9月の定例会での質問に対し、恋問館改修をできるだけ早く対応することであつたが、その後の対応について伺う。

大切な施設であるが、構造上増改築が非常に難しい。現状の施設の規模で改修するか、新たな建て替えを視野に入れて検討するのか、運営主体や財源を含めて振興公社との協議を進め、議会と相談しながら慎重に考えていく。

#### 公営住宅の入居基準を見直す考えは

#### 町 現行基準で入居願

公営住宅法基準条件について、年齢制限、所得条件を緩和する考えはないか。

和する考えはないか。公営住宅は法律上、町独自に緩和することはできない。同居親族や子供の人数によって減免もあるが、公営住宅の役割から現行の基準で入居願いたい。

#### 災害時における白糠小学校の安全対策は

#### 町 白糠中学校への移転統合を検討

河川氾濫時に被害が想定される白糠小学校の移転整備を北海道に要請したとの説明があつたが、その後の進捗状況を伺う。

児童の安心・安全の確保のために北海道に対して移転整備等を要請したところ、北海道より活用財源について国との協議内容が示され、移転の可能性がでてきた。

現在の児童数、学級数から、白糠中学校へ移転統合する方向で検討している。改革中の仮校舎等の対応は、白糠高等学校、道教委と協議し、概ね理解してもらえらると思う。



河川氾濫時の被害を危惧する白糠小学校

財源の見直しを伺う。国文部科学省の補助金と合わせ、その補助裏には地方債を充てる事を検討している。優良債といわれる過疎対策事業債により整備する方向で北海道と協議し、理解してもらっている。

#### 教育指導方針の変更内容は

#### 町 小学校高学年の外 国語科導入等

大幅に教育指導方針が変更となるが具体的内容を伺う。小学校の高学年で外国語科が導入されること。また、コ

ンピュータ操作等の情報活用能力の育成も求められる。さらに、小学校と中学校共通の変更点は道徳の教科化。小学校から取り入れられる外国語教育の内容を伺う。3・4年生から外国語活動が始まり、5・6年生で外国語科という教科になる。

道徳教育の内容を伺う。これまででは特別活動と同じ領域で取り組んできたが、小学校は平成30年度、中学校は31年度から正式教科となる。副読本等を使った心情や理解が中心の授業から、多様な価値観にふれ、様々な議論する授業を目指すことになる。

教職員の時間外勤務が問題視されているが実態を伺う。小学校では授業や学年・学級経営、中学校では部活動・クラブ活動、成績処理の時間が増えている。代休の活用や部活動休業日の設定等の支援策を講じてきたが、業務のスリム化が難しい現状は残っており、今後工夫が必要と考えている。



中河 敏史 議員  
Nakagawa Naoki

### 地域環境整備補助金の内容は

#### 町 施設周辺の環境対策活動経費

最終処分場及びクリーンセンターに係る補償費（補助金）として、馬主来地域には昭和57年から平成28年度まで約4500万円、橋西地域には平成6年度から平成28年度まで約3500万円が支払われているが、内容、経過を伺う。

橋西地域のクリーンセンター及び馬主来地域の一般廃棄物最終処分場の建設に至るまでには、建設を反対する町内会と数年にわたって何度も協議を重ね、地域の要望を聞き入れながら、やっと建設できたという経過がある。馬主来町内会に支給している補償金については、昭和50年に馬主来町内会と対処内容などを記した覚書を交わすことと昭和51年に最終処分場が設置になったが、生ゴミの直接投棄により悪臭、ハエの発生、カラスの増加による農作物被害が絶えず、猟友会に駆除を依頼したが解消できず補償金を支給することとなった。

橋西地域のクリーンセンターについては、平成2年度に覚書を交わして平成6年両施設周辺や町内会の各所にゴミの不法投棄が目立ち、クリーンセンター周辺についてはダイオキシン問題や交通量の増加の問題が発生したことから、不法投棄の未然防止のための巡視、ゴミの回収、草刈り作業等、町内会の活動経費として、当初は馬主来町内会に年間180万円、橋西町内会に230万円を交付し、現在は段階的に減額してきた。

昭和57年度から補償費が支払われており、農業被害が発生しているところ。被害調査は毎年実施すべきであるが、行ってきたのか。カラスによる被害が多いという記録があり、その他キツネによるものもある。調査簿があるのか伺っている。調査簿は見つからないが地域と協議を行っている。

馬主来町内会には昭和57年度から平成9年度まで1290万円の補償費を支払っているが、被害調査の実施、調査簿を作成しているのか。

馬主来地域9戸と覚書を交わして昨年度まで約4500万円の補償費、補助金を支払っているが、個人へ支払っているのか、町内会へ支払っているのか。町内会へ支払っているのか。町内会に支払っているのか。

10万円×20戸+30万円の覚書等はあるか、また内容は。町長就任以来、覚書や確約書等を交わしたことはない。経過を説明すると、橋西地域はクリーンセンターだけではなく、リポート構想もあつた。しかしバブルの崩壊等でリポート構想がなくなり、クリーンセンターの話だけが残って地域との協議が硬化してしまつたので、その中で23戸に各10万円を支払う事と

町内会に支払っているから問題ないのであれば極端なところ1戸でも同額を払うのか。地域全体の環境整備費用であり、全員の同意を得なければならぬ。しかし、環境が変化しており、議会からの指摘もあるため、地域の理解を得ながら努力していきたい。



折出 征清 議員  
Oriide masashi

### 消防職員の町内居住への取り組みは

#### 町 粘り強く要請していく

平成25年第4回定例会でも質したが、町内に住む消防職員の減少が続いており、現在では職員数32名のうち11名しか町内に居住していない。町民にとっては大変不安に思うところであり、また本年1月に発生した火災では現場の消防職員不足により消防団員に負担がかかっている。鉦路市に毎年人件費等として約3億円を支払っている中、前回の答弁では出来るだけ町内に居住するよう要請するとのことだったが、その後どのような要請をしたのか。

鉦路市消防の職員として採用していることから、本町には人事権がない。平成17年に消防事務を委託して以来、町内居住者を異動させない、転勤者については町内に居住するよう強く要請してきたが、年数が経過するとともに退職者が増え、町内居住者が年々減少しているのが現状。しかし、今後も新たに配置される職員については町内に居住するよう粘り強く要請していく。

町内に居住するために職員



改築と職員の居住対策が問題の消防白糠支署

住宅の整備も必要と思われるが、消防庁舎の移転改築と併せて整備する考えはないか。

住宅があればこちらに住むという確約がとれるのであれば検討したい。今後鉦路市消防と協議していく。

#### 部活動等への支援の拡充が必要

#### 町 財政支援以外も含めて調査したい

現在、スポーツ少年団等の運営は団員・部員の減少により大変難しく、また指導者への負担も増加してい

ると聞く。昨年度のスポーツ団体への助成実績と併せて、今後の支援の考え方を伺う。

実績としては、白糠町体育協会等のスポーツ団体への補助金が約180万円。中学・高校の部活動やスポーツ少年団等への助成金が約145万円。

少年団等への支援については今後も継続していくが、今のままでは良いとは思っていない。財政的支援で済む問題とそうでない問題があり、そこを勘案しながら調査していきたい。

#### 町 給食費の滞納等による

今年度から子育て支援としてスタートした「新入学児童・生徒入学支援金」と「第2子以降の給食費無料化」について、対象人数、申請人数及び支給決定人数、更には申請して支給決定にならなかった者の理由について伺う。

「新入学児童・生徒入学支援金」については、小学校は対象・申請・決定人数全て34人。中学校は同じく45人。「第2子以降の給食費無料化」については、幼・小・中の合計で対象が255人、申請者は243人、決定人数は206人。申請したが決定にならなかった者の理由については、給食費の滞納、申請したが第2子ではなかったこと等による。

#### 給食費が無料にならない者の理由は

「新入学児童・生徒入学支援金」の支出を来年は3月中旬もしくは4月上旬にできないか。

入学前に支出できるように制度設計に努めたい。



福地 裕行 議員  
Fukuchi hiroyuki

### 北朝鮮情勢への対応は

#### 町 国からの啓発内容を印刷物で配布

北朝鮮情勢が一層緊迫化し、一触即発の様相である。この国家一大事なとき、町民の生命・財産を守る対策は。国からの周知啓発内容を印刷物として配布した。また、有事の際はJアラートからの情報を防災行政無線により同時に住民に伝達する。

一朝有事の際、ともに攻撃を受けるのはわが国であるが、平和ボケはついにここに至れりの感だ。対応が遅く、全く不十分である。また、新たに整備した防災行政無線も聞こえづらく効果が薄い。

周知の周知徹底を図る。屋外の防災行政無線は課題もある。屋内への個別整備も検討中である。

状況が変わったからまた個別整備では税金の無駄遣いにもなる。併せて、報道規制している国にもしつかりモノを申すべき。

#### 町 できる限りの支援をしていく

唯一のタクシー会社の営業

#### タクシーの確保を急げ

町長就任以来、マスコミ受けする政策を喧伝してきたが、特筆すべき実績が無いことは嘆かわしい限り。先ずは、既存の「農」をしつかり守る政策投入も急ぐべき。

#### 町 支援員を配置し、農協とも連携する

町長就任以来、マスコミ受けする政策を喧伝してきたが、特筆すべき実績が無いことは嘆かわしい限り。先ずは、既存の「農」をしつかり守る政策投入も急ぐべき。

#### 町 農をしっかりと守ろう

町長就任以来、マスコミ受けする政策を喧伝してきたが、特筆すべき実績が無いことは嘆かわしい限り。先ずは、既存の「農」をしつかり守る政策投入も急ぐべき。

#### 町 別角度からの周知を検討している

町長就任以来、マスコミ受けする政策を喧伝してきたが、特筆すべき実績が無いことは嘆かわしい限り。先ずは、既存の「農」をしつかり守る政策投入も急ぐべき。

#### 町 有効活用が図られるよう取り組む

町長就任以来、マスコミ受けする政策を喧伝してきたが、特筆すべき実績が無いことは嘆かわしい限り。先ずは、既存の「農」をしつかり守る政策投入も急ぐべき。



小池 憲一 議員  
Koike Kenichi

### 温浴施設の無料券を配布しては

#### 町 健康づくりと高齢者福祉の観点から検討したい

温浴施設は町民から高い評価を受けており、中でも高齢者の利用が多いと聞くが、費用の面から頻りに利用できないという声もある。高齢者福祉の一環として一定の年齢以上の高齢者に無料の利用券を配布してはどうか。

温浴施設については昨年2月のオープン以来、1日平均約130人が利用しており、その内の3割が高齢者。利用料金については、自由に料金設定ができる施設であるが、町民に広く利用してもらうために銭湯と同料金である大人440円とお



多くの町民に利用されている温浴施設（下段は内観）



り、また入会時の登録料はかかるが使い放題のプレミアムメンバーに登録すると月額4482円で利用できる。このように利用しやすい料金設定としているが、「町民の健康づくり」と「高齢者福祉」の観点から、利用実態や他町村の事例等を踏まえながら指定管理者とも協議し、検討していきたい。

#### (仮称) 庶路学園通学路の安全対策は

#### 町 交通安全指導員の配置を進める

（仮称）庶路学園の工事が来年4月の開校に向けて進められているが、開校後の通学路はいつ頃決定するのか。

望が出ている。街路灯の整備、信号機及び横断歩道の設置、交通安全指導員の配置について、概ね関係者の理解を得られているので迅速に対策を進める。  
なお、学校としては、国道沿いの児童・生徒の実情も勘案し、国道と明治通りの二路線を通学路として指定する方向で考えていると聞いている。

関係部局と協議を重ねているが、庶路・宮下方面からの通学路については明治通りの使用で理解を得ており、現在、明治通りの西庶路地区にかかる通学路について協議をしている。遅くとも二学期早々には決定したいと聞いている。

明治通りを通学路とした場合、街路灯や住宅が少ないが安全対策をどのように考えているのか。  
交通安全対策については学校や保護者からも要



通学路としての安全対策が求められる明治通り

## 拝啓 委員会もやっています。

議会運営委員会 4月13日～6月5日 4回開催

### 議員定数は特別委員会を設置して協議！

議会運営委員会では定例会の運営について協議を行った他、4月13日には議員定数について各委員が意見を出し合いました。主な意見は以下のとおりです。  
・過去からの議員一人あたりの町民の数を見ると定数は現状のままで良い。  
・議員を1人、2人減らしても変化がない。常任委員会を二つ維持するためにも現状のままで良い。  
・議員報酬は交付税にも算入されており、町の大きな負担にはなっていないはず。現状のままで良い。

・定数を減らせば町民の声が届きにくくなる。減らすべきではない。  
以上のような意見が出ましたが、定数については議員報酬と併せて検討していく必要があることから、今後は報酬と併せて委員会としての意見をまとめ、それをたたき台として9月頃を目途に全議員による特別委員会を組成し、そこで協議していく事が望ましいというまとめになりました。  
(富田、立石、中村、小野、岡嶋、鎌田、小池)

総務文教常任委員会 3月29日～5月19日 4回開催

### 消防庁舎移転候補地は国道392号線沿い！

町が候補地を検討している消防庁舎の移転先について、消防庁舎が建設出来る面積(4,000平方メートル)以上の土地について現地視察を行い、協議した結果、市街地からの距離、緊急車両と幹線道路との接続、災害時の安全性等を考慮し、国道392号線沿いの栄1区パークゴルフ場・栄公園の場所が望ましいという意見になりました。

も河川改修が行われており、更には今後も堤防のかさ上げなど抜本的改修を北海道に対して要望していく」という内容でした。  
今後、議会の意見を踏まえて、町が平成29年度中に移転場所を確定する予定です。  
(小野、富田、折出、岡嶋、山吉、石田)



移転候補地の栄町パークゴルフ場

その中で、「現在使用されているパークゴルフ場が使用できなくなるなど、利用者にとって不便になることはないか」「茶路川の氾濫等、災害による危険性はないか」等の質問を町に対して行い、それに対して町からの回答は「パークゴルフ場については公園と隣接しており、併せて整備することで対応が可能」「災害時の危険性については海拔8メートル以上で浸水想定区域ではなく、茶路川について

産業厚生常任委員会 4月24日 1回開催

### エゾシカ等の有害駆除条例は議員提案！

エゾシカ等の有害駆除にかかる条例化を協議してきましたが、委員会の中で「現行の規則等で対応できるので条例までは必要ない」といった意見があり、委員会として意見がまとまらなかったことから、

委員会による提案ではなく、条例化を求める際は賛成議員により提案することとなりました。  
(中村、立石、中河、鎌田、福地、小池)

※( )は委員会に所属している議員名です。また、上記の他に広報委員会を2回、全議員による全員協議会を1回開催しています。





「しらぬかい店  
こんな店」

やまかん

今号で紹介するのは、新鮮な海の幸をふんだんに使った料理が人気の「やまかん」さんです。

「やまかん」と聞くと、辛党にとっては垂涎の、今や釧路からも汽車や車で乗り合わせてお客が訪れる程の人気のお食事処ですが、もともとは白糠人なら知らない人がいないほど有名な名産品「つぶ子ちゃん」を作っている水産加工業者「山内水産」。

先代の社長である山内敏明さんがお店であつかつていた新鮮な魚介類を消費者の方に直接味わっていたきたいと思ひ立って始めたのが平成7年の春。

開店当初は未経験の分野だったことから様々な苦労があつたものの、新鮮な魚をさばいたおおぶりの刺身や干し加減が絶妙の焼き魚等がクチコミで広まり、開店して半年もたつ頃にはなかなか予約がとれない人気のお店へと成長しました。

お店では時期に合わせた旬な魚料理が並びますが、社長曰く、今の時期の宴会料理にはトキサケが並ぶことが多いそうです。

冷えたグラスを片手に、波の音を聞きながらご家族や仲間たちと至福の時間を過ごされてはいかがでしょう。

※ご来店には事前予約が必要となります。

住所：白糠町東三条南三丁目

電話：(2) 2824

定休日：不定休



【おしらせ】やまかんさんからのご提供！本年8月末までの宴会を予約時（10名以上の団体）、「議会だより」見たと「鍛高譚」を一本サービス（一団体一回限り）。



「あしがき」

文化交流が進んでいた台湾新北市烏来区のタイヤル族と白糠アイヌ協会の間で文化交流提携が締結されたことに続き、今回、烏来区と白糠町の自治体間の友好交流提携が締結されることになり、町・議会・文化団体など総員55名による親善訪問団が計画され第2回定例議会に於いて補正予算等が決定されました。

目的には先方との理解・友好の絆を深め、将来に向けて広い分野での実り多いものになることを掲げています。輝く未来に羽ばたく青少年にとつて限りなく前進するグローバル社会に対応するスキルと感性を醸成するため、国際社会への理解と参加が大切と考えます。

笑顔輝く子供たちの夢と希望の実現をめざし有意義な親善訪問になることを念じ参加して参ります。

(小野)



故 丸子 忠 議長のお祈りいたします

御冥福をお祈りいたします



丸子忠議長（73歳）が、7月7日に逝去されました。故人は、平成3年の初当選以来、7期26年にわたり町議会議員として、また議長として町政発展のために活躍されました。

実直すぎる性格から「厳しい人」と思われがちでしたが、その人となりに触れると、誠実な人柄と周囲に気を配る思いやりに驚く方も多く、頼りになる住民の代表として広く愛される存在でした。

また、この議会だよりでは「頑張るのは広報委員」と言いながらも、率先して行政に議会広報の必要性を訴えかけ、前号のリニューアルにあたっては陰日向になって尽力いただきました。ここに謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。



（人一倍好奇心が旺盛で勉強熱心でした。写真：一昨年の産業厚生常任委員会視察）

議会だよりしらぬか 2017.7.25  
Shiranuka No. 137

発行 白糠町議会  
〒088-0392  
北海道白糠郡白糠町西1条南1丁目1番地1

TEL: 01547-2-2171  
FAX: 01547-2-4659  
URL: http://www.shiranuka.jp

編集 広報調査特別委員会  
委員長 山吉 公徳  
副委員長 鎌田 民子  
委員 富田 忠行  
委員 小野 キサ  
委員 折田 征浩